



水草ウォッチング

～君もこれで水草博士!～

活動のねらい

- 湖岸で水草を採取して、観察・記録・スケッチなどを行うことにより、琵琶湖周辺の水生植物に関心を持つ。

【時 期】 5月～11月

【場 所】 どの港でもOK

【時 間】 30分～60分

【準備物】 ●ビニール袋 ●バット ●ルーペ
●「滋賀の水草」図解ハンドブック（常備）
●（実物投影機・TVモニターの使用も効果的）

主な活動の流れ

事前学習

●琵琶湖に生息する水草を調べる。（しおりを参考に）

- ※琵琶湖には20種類ぐらいの水草（沈水植物）が分布している。
- ※しおりに掲載している水草を児童用プリントの検索表で見分ける練習をする。

●琵琶湖固有種・外来種を見分ける。

- ※琵琶湖固有種はネジレモ・サンネンモ。外来種はオオカナダモ・コカナダモ・ハゴロモモが
あります。 [下線の水草はしおりに掲載しています。]
- ※昔は水草を集めて畑の肥料にしていたが、現在は釣り針（ルーアー）やごみが混ざり、肥料に
することができない。
- ※外来種は異常繁茂によって、船の航行に支障をきたしたり、岸に打ち寄せられ腐り、異臭を
放つ等の問題が出ている。
- ※在来種の中にはここ50年ほどで絶滅したものがある。

びわ湖の水草を採取して、観察しよう！

フローティングスクール

- ① 寄港地・停泊地の港やその近辺で水草を採取する。
- ② 多くの種類に目を向けさせながら仕分けをする。
- ③ ワークシートの検索表を使って名前を知る。
- ④ （ルーペなどで）観察したことをスケッチしたり、記録する。
- ⑤ 後始末をする。（水草はよく水を切り、生ごみで処分してください。）



※水草のしおりをする場合は、押し花にする。

事後学習

- 水草のしおりづくりをする。（フローティングスクールホームページ参照）
- 学校・地域の川（琵琶湖）ではどんな水草があるか調べる。